

## 岩手県立遠野緑峰高等学校

### 生産技術科草花研究班

摘花された花たちの再利用～天然色素から生まれるホップ和紙の新たな挑戦

本校では、毎年約25,000本の花を生産し、株を大きくするため「摘花」を何度も行い、年間500kgもの花を廃棄処分する。そこで、摘花された花から天然色素を抽出し、染料として再利用させ、ホップ和紙を染色し、付加価値を与える研究に取り組む。



## 岩手県立釜石高等学校

### SS探究 I

地域課題とSDGs

地域課題とSDGsを関連させた講義・ワークショップ・フィールドワーク等を行い、課題解決のためのアクションプランを各自が作成する。そのアクションプランをポスターにまとめ、各クラスや文化祭で展示発表を行い、さらにより深く調査・実験等を行っている。



## 秋田県立秋田北鷹高等学校

### 科学部 ESD班

開発途上国における地球温暖化の知識・意識に対する環境教育プログラムの実践活動

今後、二酸化炭素の排出量が増加すると見込まれる開発途上国で地球温暖化への知識・意識を改善するため、マレーシアサバ州コタキナバル市内で大人向けセミナー1カ所、小学校1校、高校3校、合計260名に環境教育プログラムを実施した。



## 秋田県立羽後高等学校

### 生徒会執行部 2年生

羽後高校の環境活動

地域に開かれ、地域に信頼され、小さくとも温もりのある学校を目指して環境活動を実施。①県民参加の植樹や育樹活動の実施、②コンタクトレンズの空ケースの回収やリサイクルの推進、③環境美化活動、④空き家の活用について検討。



## 宮城県志津川高等学校

### 自然科学部

松原干潟の生物調査

志津川湾は、2018年、ラムサール条約湿地に登録された。その最奥部が松原干潟。「南三陸少女自然調査隊」とともに「松原干潟と八幡川の生物調査」を合同で行っている。また、松原干潟における導流堤工事の影響評価も行っている。



## 宮城県富谷高等学校

### 水素プロジェクトチーム

水素プロジェクト

水素社会の実現に向けて富谷市の取り組みを知るために、講演会や施設見学を実施。水素ステーションの見学や水素エネルギー実験も行った。富谷市の抱える課題の解決に水素社会の実現に向けた取り組みを活かす提案ができないか検討している。



## 宮城県利府高等学校

### 自然科学部・ROGER

赤外線温度計を用いた利府町内の地温計測と植生土壌の関係調査

紫外線量・ガンマ線量を計測している。この中で土壌の土質や水分量とガンマ線の影響を調べ各種研究会にて発表を行った。また上空や地面での赤外線温度計での温度計測を行っている。新たに植生と地温の関係についても計測を始めた。



## 宮城県多賀城高等学校

### SS科学部

宮城県多賀城高校Bursa.パスターズ ～多賀城高校の松枯れの原因を探るPart3～

「多賀城高校の松枯れの原因を探る」をテーマに緑化環境の保全活動をしている。①アカマツの健康状況調査、②マツノザイセンチュウの検出、③気孔の汚染調査、④土壌成分の分析。各種環境イベントや研究発表会で広く発表している。



## 仙台白百合学園高等学校①

### 30LS04

家庭の意識の改善で食品ロスは減らせるか

家庭の食品ロス削減を大きな目標としている。食品を無駄にしないレシピを作成しコンテストに応募。学校説明会でポスターセッションを実施。学園祭で英語でSGH活動発表。食材を無駄にしない、家庭で実践しやすいレシピの考案に挑んでいる。



## 仙台白百合学園高等学校②

### 30LS05班

再エネ化による経済効果

「再エネ化による経済効果を人々に知らせることで、社会への普及を図ることができる」と考え、アンケートや発表、論文応募を実施。現在、学校の敷地面積、使用電力量を調べ、再エネを導入した場合の電気代節約やCO<sub>2</sub>排出抑制量を調査中。



## 宮城学院中学校高等学校

### 特活自然科学班

食用廃油の資源化

食用廃油は、現在多くの自治体で回収され、バイオディーゼル燃料に加工利用されている。私たちは、食用廃油を食用になるタンパク質に変えることにより、環境問題と食料問題の同時解決を目指した研究に取り組み研究発表を行っている。



## 宮城県農業高等学校

### 科学部復興プロジェクトチーム

循環型育成法から生まれた桜塩で目指せ!桜の国

～私達の復興への挑戦～

東日本大震災後、浸水した校庭に咲く桜に希望と勇気を与えられ「桜保存プロジェクト」を始動。昨年、「宮農復興の桜」42本が植えられた。現在、桜の摘花で桜塩生産・販売、宮農式循環型育成法Ⅳを構築。桜の国実現を目指している。

